

くるくるマトのつくり方^{かた}

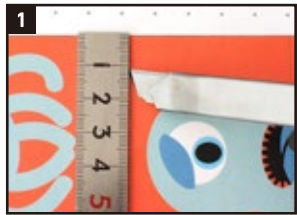
★★☆☆☆

20分

準備リスト^{じゆんび}

- | | | |
|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> はさみ | <input type="checkbox"/> のり | <input type="checkbox"/> 竹串 |
| <input type="checkbox"/> カッター | <input type="checkbox"/> ストロー | <input type="checkbox"/> 分厚い本 |

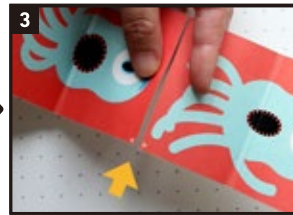
つくり方



1 谷折り線、山折り線に、カッターの背ですじをつけます。



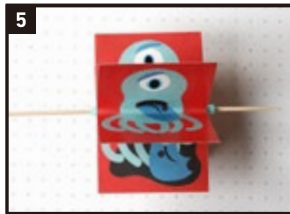
2 切り取り線にそって切り、山折り、谷折りをします。



3 谷折り部分を^さ避けて、同じしなのついた羽と羽が合うように貼り合わせます。



4 山折り部分を順番に貼り合わせ、はしを貼り合わせたら、真ん中にストローを刺します。



5 竹串をストローに通し、積み重ねた本のページの間、刺して、完成！



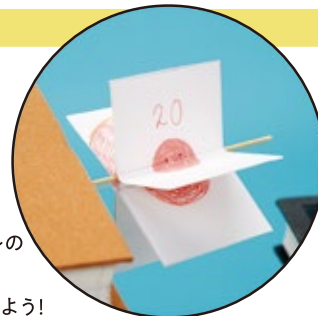
6 手裏剣や軽いボールを投げる^とマトがくるくる回り、イラストが動きます！

MISSION COMPLETE!

あそび方



3つのマトを重ねないように置いて、的あてゲームをしよう！



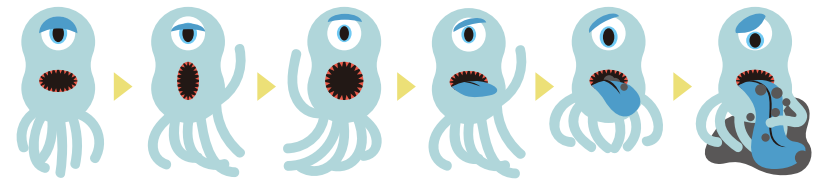
オリジナルの動くマトをつくってみよう！

おし教えて！ミッケ！

どうして絵が動いて見えるの？

絵が動いて見える仕組み^{しく}

みんなが普段^{ふだん}見ているアニメは、実は本当に動いているわけではありません。キャラクターの表情やポーズ、背景を少しずつ変えた何枚もの絵を、「すばやく」^{れんぞく}「連続」で見せることで、まるで動いているように見えるんです。くるくるマトも、この仕組みでドラゴンが飛んだり宇宙人が動いたりして見えるんですよ。



これと同じ原理を使っているのがMISSION06「鳥をつかまえよう」だよ。



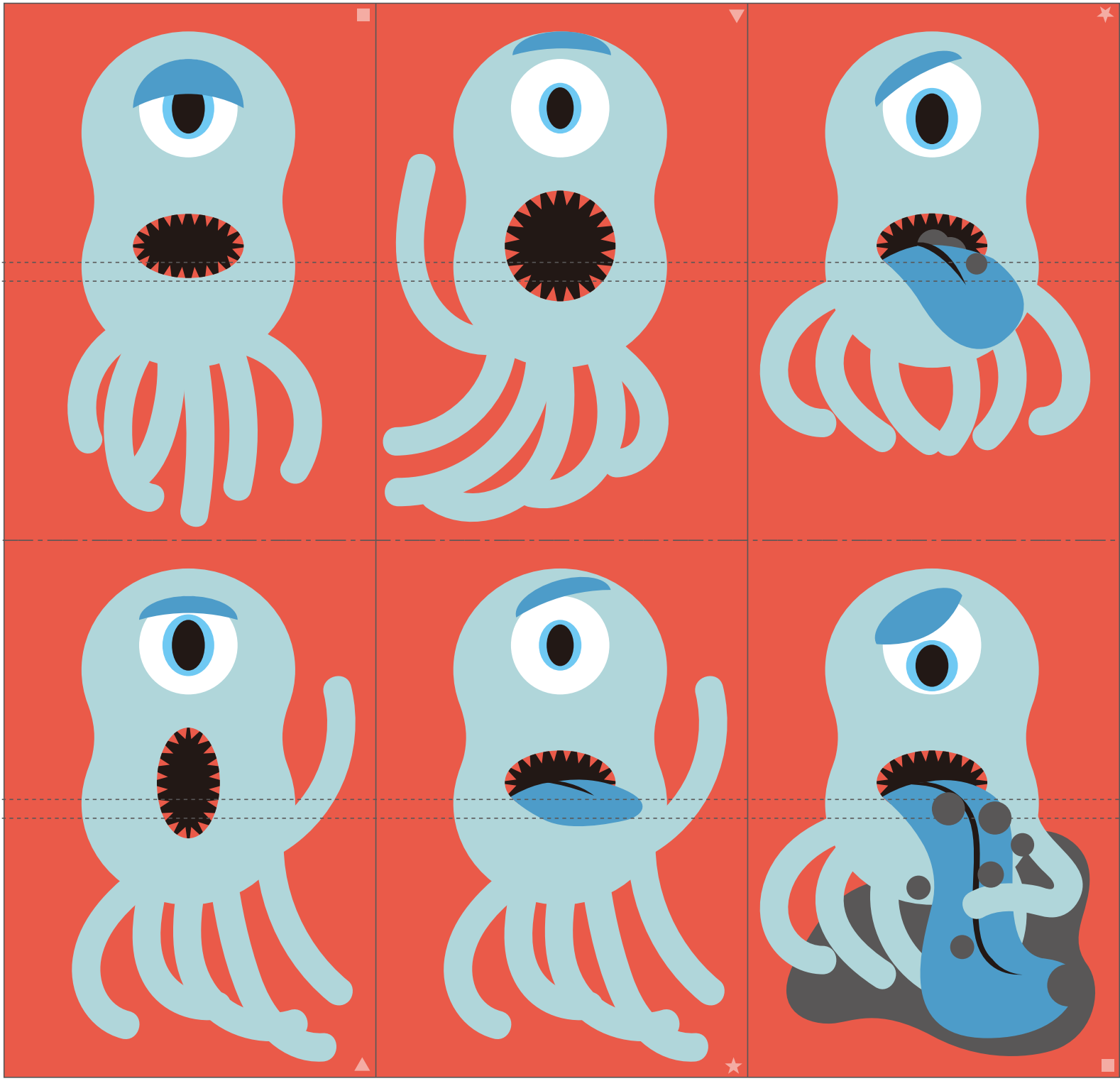
アニメには、何枚の絵が使われているの？

キャラクターの動きをなめらかにするためには、たくさんの絵が必要です。実際のアニメで使われる絵は1秒間に^{じっさい}8枚から12枚！さらに24枚ということもあるのだとか。こうした絵を描く仕事を“アニメーター”と呼び、アニメは多くのアニメーターの手作業に支えられています。ちなみに昔は紙に描かれていましたが、最近はデジタル化が進んでいます。



1秒間に8枚として、30秒で何枚必要になるかニャ？





山折り / Mountain fold

切る / Cut

谷折り / Valley fold

のりしろ / Paste

● LITTLE
■ LITTLE



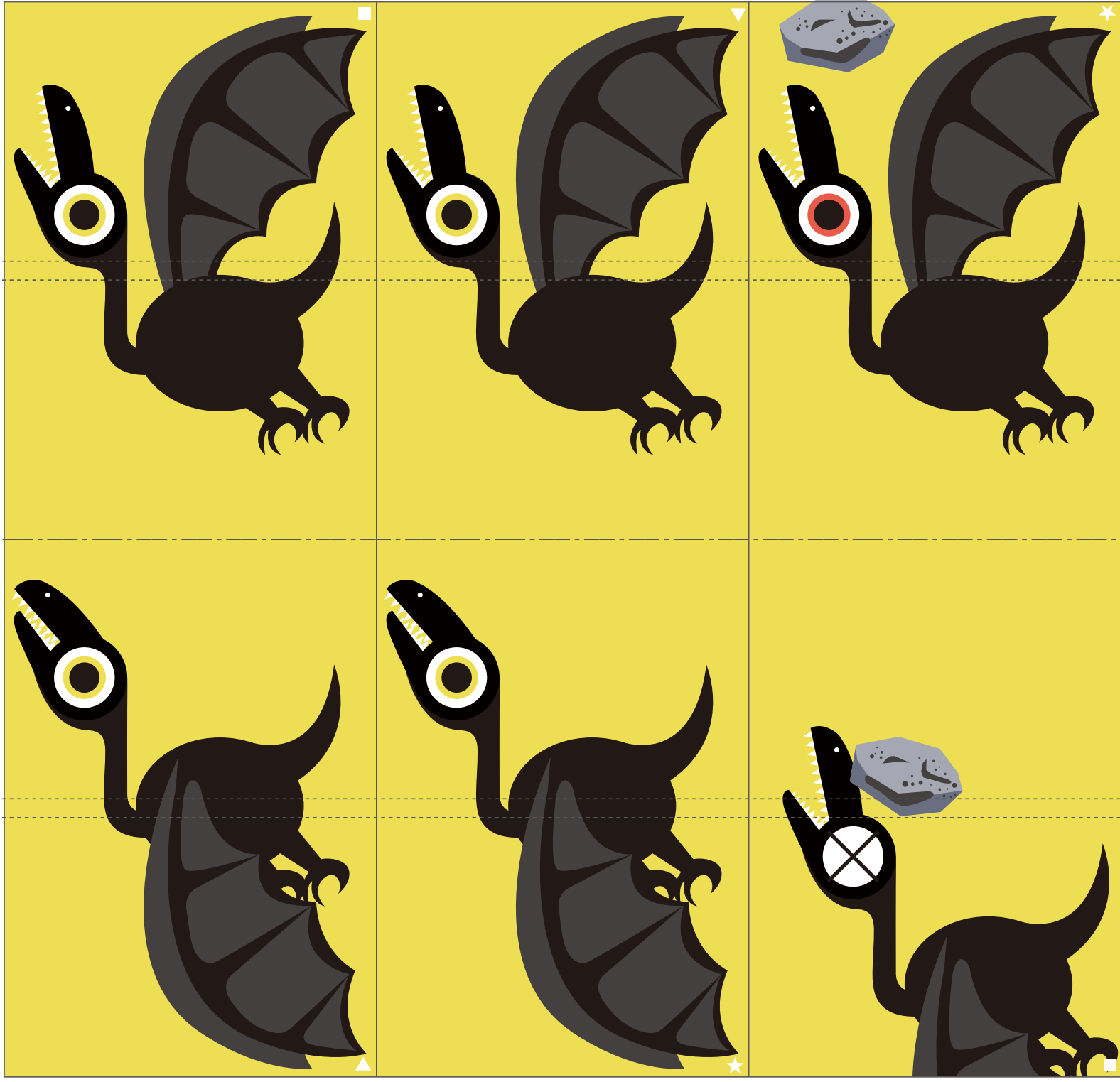
山折り / Mountain fold

切る / Cut

谷折り / Valley fold

のりしろ / Paste

LITTLE
LITTLE



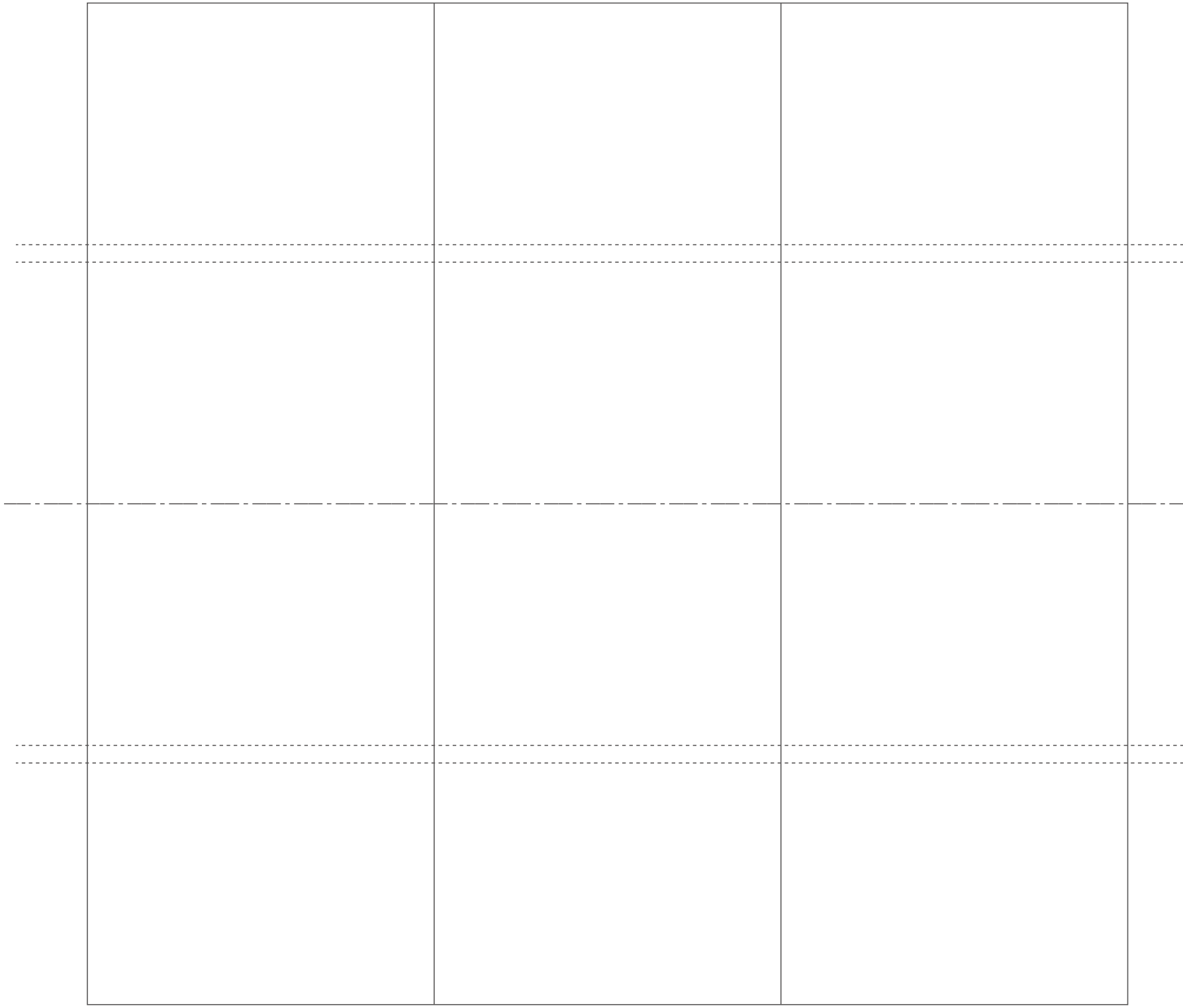
山折り / Mountain fold

切る / Cut

谷折り / Valley fold

のりしろ / Paste

LITTLE
LITTLE



山折り / Mountain fold

切る / Cut



谷折り / Valley fold

のりしろ / Paste

